

秋川橋河川公園の管理運営の状況について

1 公の施設の概要について

施設の概要	名 称	秋川橋河川公園
	所在地	あきる野市留原 8 1 4 番地
	所管課	環境経済部商工観光課観光推進係（内線） 2 5 3 4
指定管理者	名 称	あきる野市観光協会
	所在地	あきる野市乙津 1 2 9 3 番地
	業務内容	①施設の利用等に関すること ・施設利用の受付業務 ・器具類の貸出し業務 ②環境衛生協力費等の徴収に関すること ・施設利用者が、施設内に自動車等を持ち入れる際の環境衛生協力費の徴収業務 ・器具類等の貸出し料徴収業務 ③施設の維持管理に関すること ・施設の清掃業務 ・施設の軽微な修繕に関する業務 ④施設の利用促進を図るための企画実施に関すること ・各種イベントの支援業務 ・施設の見学に関する業務 ・広告・宣伝業務 ・施設利用者に対する意識調査の実施業務
ホームページ URL		https://www.akirunokanko.com/?p=307
指 定 期 間		平成 2 3 年 4 月 1 日 ～ 平成 2 6 年 3 月 3 1 日

2 施設の利用状況等について

項 目	(平成 17 年度)	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
利用者数 (人)	約 60,000	約 60,000	約 65,000	約 70,000	約 70,000	約 75,000
前年度比 (人)		0	5,000	5,000	0	5,000
前年度比 (%)		100	108.3	107.7	100	107.1
利用料金収入 (円)	41,785,900	41,255,400	47,968,200	50,685,400	55,644,700	58,830,896
前年度比 (円)		△530,500	6,712,800	2,717,200	4,959,300	3,186,196
前年度比 (%)		98.7	116.3	105.7	109.8	105.7

施設の収支状況について

(単位：円)

項目		平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
収 入	指定管理料	0	0	0	0	0
	利用料金	30,116,900	35,890,200	38,734,000	42,294,000	44,471,100
	その他の収入	11,138,500	12,078,000	11,951,400	13,350,700	14,359,796
	計	41,255,400	47,968,200	50,685,400	55,644,700	58,830,896
支 出	維持管理経費	1,920,364	4,340,857	873,753	2,317,850	5,097,911
	人件費	9,967,113	11,150,481	13,879,541	13,707,497	16,148,508
	その他	5,939,092	7,107,588	9,391,302	8,615,901	11,845,642
	計	17,826,569	22,598,926	24,144,596	24,641,248	33,092,061
収支合計		23,428,831	25,369,274	26,540,804	31,003,452	25,738,835

4 利用者からの苦情・意見等とその対応状況について

意見等の概要	対応状況
道具類の持込禁止について苦情が多い。	河川環境保全ということで説明をし、大半の利用者には理解していただいているが、どうしても私物の道具類を使用したいお客様に対しては、他の施設を紹介している。

5 利用者満足度の把握について

把握方法	来場されたお客様に直接感想等を聞いている。
調査結果	気楽にバーベキューができて料金も安いので、満足しているとの意見が多かった。また、道具類を使用したまま返却できるので、便利であるとの意見もいただいている。

6 利用者サービスの向上又は経費の削減等に向けた取組について（実績・予定、効果等）

取組の内容	効果等
案内等の看板の見直しを行った。	来場の際に戸惑うお客様が減少した。
未使用時の電源を切るなど、節電を実施している。	今後、効果を確認する。

7 総合評価

指定管理者の評価

(次年度以降における業務改善につなげていくための総括又は自己評価)

特に大きな問題もなく管理運営を行っている。利用者の多くはリピーターであり、今後も多くのお客様に気持ちよく利用していただけるよう施設内の美化、接客マナーの向上等サービスの向上に努めていく。

設置者（所管課）の評価

(次年度以降における業務改善につなげていくための指定管理者の管理に係る総括的な評価)

利用者数や収支状況を見てみると、利用者数については前年度比約 5,000 人の増加、収入については約 3,186 千円増加している。収支は約 25,739 千円の利益があったが、前年度対比では約 5,265 千円減少している。利益の減少は、経費の増加によるもので特に修繕費、人件費、仕入高などが増加している。

第 1 水辺公園（リバーサイドパークの谷）や第 4 水辺公園（秋川ふれあいランド）と比較すると、武蔵五日市駅から徒歩 5 分という立地条件や公園の規模の違いから利用者数、収入等にも大きな開きがある。年間を通してのピークは夏休み期間中であり、この時期は 400 台収容できる駐車場が満車となり、川原は足の踏み場もないほどの賑わいを見せている。この付近は川の流れも緩やかなことからバーベキューをしながら川遊びをする家族連れも多い。

今後も引き続き積極的なサービスを展開し、従業員へのホスピタリティ教育や安全管理教育を行うことで、更なる利用者の増加を図り、あきる野市内により多くの観光客を呼び込むことが重要であると考えている。